

ブロックエース

本品は乳タンパク質から調製した免疫実験用ブロッキング剤です。

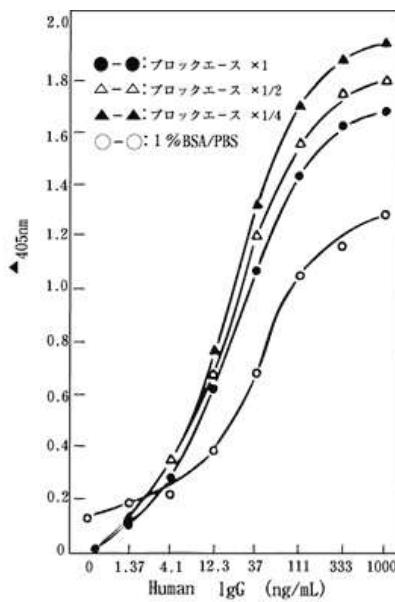
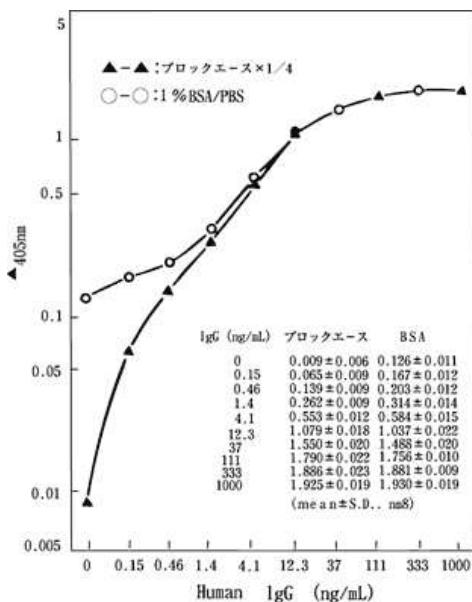
乳タンパク質は疎水性基を多く含むため、プラスチック、メンブレンフィルターなどに対し高い親和性を示します。そのためBovine Serum Albumin(BSA)など従来用いられているブロッキング剤に比べ、ELISA、RIA、イムノブロッキング法における抗原や抗体の非特異的吸着に対して優れたブロッキング効果を発揮します。

特長

- ◆ブロッキング効果が高くバックグラウンドを低く抑えられるので高感度測定に有用です。
- ◆加熱処理されており、ウシ由来抗体、酵素、ウイルスは不活性化されています。
- ◆厳密な品質管理試験を行っており、ロット間差も少なく、再現性も良好です。
- ◆生理活性物質の安定化作用があり、希釈剤としても利用できます。
- ◆BSA溶液を用いる場合に比べ経済的です。
- ◆水にすばやく溶解します。

効果(社内データ)

ブロックエースと1%BSA溶液とのブロッキング効果の比較



抗ヒカッパ鎖抗体、抗ヒトラムダ鎖抗体をコートし、ブロックエースまたは1%BSAでブロッキングした後、ヒトIgG ELISAを行うとブロックエースではバックグラウンドが低く、勾配の高い標準曲線が得られています。

操作法

ブロックエース粉末は、通常本品4 gを精製水100 mLに溶解し、これを原液として使用します。



ブロッキング

ブロッキングにはブロックエース原液あるいは精製水で2~4倍に希釈してご使用ください。

(ELISAには4倍希釈液、イムノプロッティングにはブロックエース原液そのままを目安に使用します。)



試料・抗体希釈

ELISAやイムノプロッティング法に使用する試料および抗体の希釈には、ブロックエース原液をTBSやTTBS等で10倍に希釈してご使用ください。
非特異的な吸着を効果的に抑えることができます。



価格

| 注文Cat. No. | メーカーCat. No. | 品名 | 容量 | 保存温度 | 価格(円、税抜) |
|------------|--------------|-----------|--------|-----------|----------|
| UKB40 | UK-B40 | ブロックエース粉末 | 40 g | 室温(輸送は冷蔵) | 10,000 |
| UKB500 | UK-B500 | ブロックエース粉末 | 500 g | 室温(輸送は冷蔵) | 100,000 |
| UKB80 | UK-B80 | ブロックエース粉末 | 4 g×20 | 室温(輸送は冷蔵) | 20,000 |

無償サンプル
提供中！(4 g×1)
ぜひお試しください！

どのような製品？

乳タンパク質から調製した免疫実験用ブロッキング剤です。乳タンパク質は疎水性基を多く含むため、プラスチック、メンブレンフィルターなどに対し高い親和性を示します。そのためBSA (Bovine Serum Albumin) などの従来用いられているブロッキング剤に比べ、ELISA、RIA、イムノブロッキング法における抗原や抗体の非特異的吸着のブロッキングに、優れた効果を発揮する試薬です。

ブロックエースの組成は？

乳タンパク質を主成分としております。

ブロックエースに含まれている「乳タンパク質」は動物由来と思われるが、その動物種と原産地は？

北海道のウシの生乳を原料としております。まれに本州のウシ生乳を用いることもあります、国内ウシ由来によるものです。

ブロックエースの分子量は？

分子量は分かりませんが、ホエータンパクから製造されておりますので、多くは高分子と推察しております。

有効期限と保存温度は？

有効期限は、未開封、室温保存で製造後3年です。保存剤を含んでおりませんので、溶解後は凍結保存か、適当な防腐剤を加えて保存してください。

ブロックエースの溶かし方は？

ブロックエースには既に緩衝成分を含んでおりますので、水で溶かしてください。乳製品を原料としていますので、カルシウムを含むと考えられ、リン酸系のバッファーでは沈殿、凝固物を生成する可能性がありますため、精製水や脱イオン水での溶解及び希釈を推奨しております。なお、溶かすときの水の温度と溶解性の関係は特に認められませんでした。

リン酸化タンパクの検出に使用可能？

ブロックエースは乳タンパク質より製造されておりますので、リン酸化タンパクを含んでいると想っております。しかし、製造工程で高温加熱処理を行っておりますので、リン酸化タンパクは変性し、抗原性は残っていないと考えられます。全てのリン酸化タンパクの検出に使用できるかは不明ですが、多くの施設でリン酸化タンパクの検出時にご使用いただいております。

アビシン・ビオチンを利用するABC法に使用可能？

乳タンパク質由来のビオチンを含む可能性はありますが、製造工程で高温加熱処理を行っておりますので、変性していると考えられます。多くの施設でABC法にもご利用いただいております。

カルタヘナ法への抵触は？

抵触致しません。

液体で販売している「イムノブロック」^{(*)1}との違いは？

「ブロックエース」は乳タンパク質、「イムノブロック」は高分子化合物を主成分としたブロッキング剤です。イムノブロックは液体のため溶解する手間がかかりませんが、ABC法を利用した検出やリン酸化タンパクの検出には、影響を及ぼす可能性があります。

*1: イムノブロック 【カタログ番号】CTKN001 【容量】200mL×5 【価格】16,000円



細胞.jp

サンプル依頼
フォームその他、ご質問・ご不明点等ございましたら
お気軽にお問い合わせください！

●掲載の商品は、全て研究用試薬です。人や動物の医療用・臨床診断用等には使用しないでください。

●掲載内容は、2025年9月 現在の内容です。予告なしに改定される場合がありますので、ご注文の際にご確認ください。

株式会社ケー・エー・シー
試薬事業部

〒661-0978
兵庫県尼崎市久々知西町2丁目1-20

(お問い合わせ窓口)
TEL:06-6435-9747 FAX:06-6435-9748
URL:<https://www.kacnet.co.jp/>
E-mail:shiyaku-info@kacnet.co.jp